#### (プレスリリース)

令和3年2月9日 九州大学大学院芸術工学研究院 株式会社エックス都市研究所九州事務所

# 「那珂川ウォーターパークマネジメント研究会(第1回)」1月21日開催(オンライン)のトークセッション要旨と事後アンケート結果のお知らせ

1月21日にオンライン開催(参加申込者約80名)しました「那珂川ウォーターパークマネジメント研究会(第1回)」のトークセッション要旨と事後アンケート回答結果(回答者数約30名)をお知らせ致します。

※「ウォーターパークマネジメント」とは、行政・大学・民間・市民などが連携して、情報発信やイベントなどを行うことを通じて、地域の人々皆で公園を運営していくという考え方です。

記

- 1. 資料1 トークセッション要旨
- 2. 資料 2 事後アンケート回答結果
- 3. 資料 3 本プログラム
- 4. お問合せ先 那珂川ウォーターパークマネジメント研究会事務局

(株式会社エックス都市研究所九州事務所内)

主任研究員 尾藤 文人

住所 〒802-0005 福岡県北九州市小倉北区堺町一丁目2番16号 十八銀行第一生命共同ビル9階

TEL 093-513-2252 FAX 093-513-2253

※プレスの方で取材を申し込まれる方は上記事務局まで、ご連絡下さい。

(以上)

#### トークセッション要旨 (那珂川ウォーターパークマネジメント研究会 (第1回))

- 那珂川でのSUPは、川を見るだけではなくて、川の水面上を活用することに価値がある。「川を人が泳げる川へ」と考えられる状態に持って行った。
- コペンハーゲンでは行政が水質改善を実行し、「人が水際や川の水面上を使う」という アクティビティが活発になり、親水性の高い水際の再開発が増え、都市の魅力が向上し た。そうした事例を見ることで水質改善の必要性が分かってきた。
- 海外の水辺では、賑わいや観光だけでなく、都市生活の場所として使いこなされている。
- 日本の公園管理の難しさは、行政が管理して、市民はサービスを受ける人になってしまった。
- もともとは日本もコモンがあった。暮らしの中にどれだけ使いこなせる取り組みを位置づけていくか、が大事。
- Ecology/Economy/Community の三位一体が大事。
- Ecology と Economy のつながりが課題。
- Ecology という考え方が、取り組みの中で、どう賑わいや取り組みと結びつけるか、課題。そこをどう地域経済へ結び付けていくのか?
- NY の事例: Rebuild by Design、ハリケーンによる浸水被害
- 水害に強いまちを作っていく。コンクリート護岸から、生態系を回復させ、牡蠣を養殖 し、雇用を生み出す。新しい NY の名物を作り、経済活性化とコミュニティづくりとを 繋げている。
- ゴアナスキャナル:ブルックリンの運河沿いの改修計画が参考になる。
- 日ごろから憩える空間、人々がいかに使いやすい空間にできるか。人に密着した空間を どう作れるか。
- 合意形成ではなく、主体形成へ

- 作って終わりではなく、どうやってファンづくりをしていくか?
- 昔は那珂川で水遊びしていた:寒中水泳大会
- 水辺の緑化による水質浄化をゲリラ的にやってみるか?
- 北九州市:工場地帯であったのにもかかわらず、都市型河川でも泳げるように。
- コペンハーゲン等の海外事例は、人と水との関係が近い。
- 名古屋では堀川で葦(よし)を使った水質浄化をNPOがしている。
- 自分たちで主体的につくっていくんだという郷土愛が福岡にはある。
- 広島デパートの屋上広場の改修計画では改修前に1年間で13回のワークショップを開催してアイディアを募った。ワークショップに関わった人達が改修後に屋上広場を使いこなす主体者となった。
- 水辺のデザインのプロセスを一緒に考えていく、例えば那珂川サポーター会議などを 立ち上げてはどうか?(サービスを受ける側から主体者に変化していく)
- 学生達も関わりたいが、どこに相談すればいいかわからない、とっかかりが作れるよう な場づくりが重要。
- いいイベントを開催するのと同時に、地域が独自にもっている課題に光を当てて取り 組んでいく、ミッションを共有するとテンションがあがる。
- 繁華街なので、フードロス削減とコンポストがつながったような、楽しんで取り組める 試みはどうか。
- お母さんが安心して子供を連れていくところがない、ピクニック、高齢者のいる場がない、子供と高齢者をテーマにすると、主人公になりにくい人達に光をあてる、そういうシーンが見られると那珂川が変わったなと感じられる。

(以上)

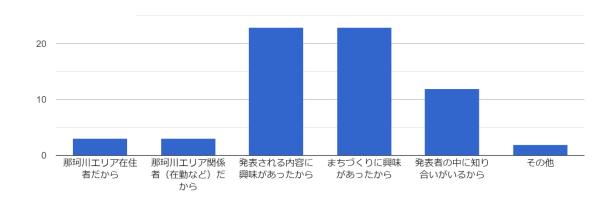
## 事後アンケート結果 (那珂川ウォーター・パークマネジメント研究会 (第1回))

・調査方法:インターネット調査(参加登録者(約80名)へアンケートを依頼し、約30名の回答(匿名)を得た。)

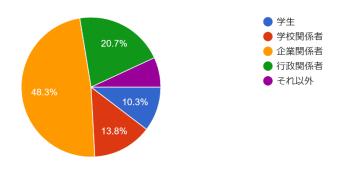
·調査期間:令和3年1月22日(金)~2月5日(金)

## 【質問内容と回答結果】

◎質問:那珂川ウォーター・パークマネジメント研究会(第1回)に参加された動機をお聞かせ下さい。(複数回答可) ※必須回答



◎質問:あなたの属性にチェックを記入してください。※必須回答



◎質問:那珂川エリアに望ましい姿がございましたらご自由にご記入下さい。

- O 水辺空間の一体有効活用
- O 博多・天神の中間地点という立地特性を活かし、人々がバスや地下鉄で両地区間を移動するのではなく、「歩いて行こう!」と思えるような空間を形成し、博多天神地区を代表する新たな拠点となるようなエリアになると良いと思う。
- O どうしても地元の人は今までの経緯でエリアにラベルを貼りつけてしまうと思うので、 外から得られる刺激をうまく使って、地元の人が魅力を再発見していくようなプロセスが築けると、色々とアイデアが出てきそうだと感じました。そういう触媒として研究 会が機能すればいいのではと感じます。
- O 昨年那珂川沿いを歩いた際に、中州のダーティな印象、がらんと広く寂しい印象を感じました。大濠公園のように、とまでは行かなくても、緑が多く、明るくクリーンで文化的な感じになるといいなとおもいます。
- O 水上ステージのようなものをフロートを浮かべて音楽イベントの実施
- O 多様な主体が安心して集える、楽しい空間
- O このエリアということではなく、訪問者にとってはトキメキが、住んでいるものにとっては生きるためのパワーが得られる場所…に人は集まるのだと思います。そのテーマを何にするかは、そのまちの歴史や成り立ちのなかにあるポテンシャル…なのでしょうか。
- 〇 "福岡市と言えば「那珂川」となるように、市の象徴となるような空間になって欲しい。
- 多様な人が訪れ、憩い、活動できる空間であって欲しい。"
- O 子供、社会人、お年寄りなど多様な人々で賑わう場所
- の 普段から水辺で過ごすと気持ちの良い空間となっている。
- O 四季を感じ、交流・回遊できるエリアへと成長してほしい。
- O 公園、道路、河川の 3 要素をバランスよく検討している現在の案はとても良いと思った。歴史保全や屋台などの保護の観点も検討の際に盛り込むとより那珂川らしくなるのではないかと感じた。
- O 子どもの水辺再発見プロゼクト開始
- O このエリアということではなく、訪問者にとってはトキメキが、住んでいるものにとっては生きるためのパワーが得られる場所…に人は集まるのだと思います。そのテーマを何にするかは、そのまちの歴史や成り立ちのなかにあるポテンシャル…なのでしょうか。
- O 水面上の賑わい創出にとどまらず、河川背後地の土地利用や街区規模での親水化を想 定したまちづくりへの発展
- O 川の東西で文化が分かれていると感じる部分があり(博多側は商人の町、天神側は城下町等)、それらを繋ぐ機能としての川の在り様というものを体現する姿が望ましいと

考えます。

- O 大都市の水辺(のよい使われ方,よい景観)をリードしてください。すでにそうなっていますが.
- O 水面に触れることができるような仕掛けだったり、水質だったり、、、みんなで少しずつ 良くしていきましょう!
- O 自然と都市と環境がバランスよく配されたエリア
- O "昼夜を問わない賑わいと憩いの空間となることが望ましいと考えています。
- O また、このエリアは新しい福岡の顔となるポテンシャルを秘めているとも感じており、 研究会でも話が出ていたような、ストリートミュージック等の既存の界隈性を活かし た場や、水辺のアクティビティが可能な場など、この空間特有の属性を併せ持つことで、 この場所自体が来街者の目的地ともなり得るようにしていきたいと考えています。"
- O 交流・出会いの場
- O 親水空間の整備や、セントラルパークからウォーターフロントに向けてのブールバールのネットワーク等、那珂川沿いの水辺空間の再整備は必要だと思う。しかし、流域治水等防災機能の強化の実施が前提と考える。
- O 橋の上から川を見ながらゆっくりできる場所(休憩所、カフェなど)がある
- O "キャナルシティ博多まで、船で周遊できたら楽しい風景になると思います。昔そういった構想があったそうですが、底の関係で断念したという噂を聞きました。
- O 個人的には千年夜市が清流公園で通年出来て、一つの風物詩と夜景が生まれることを 夢みています。そこをベースにしたスタートアップや社会実験を盛り込んでいく場所 になれば良いなあと。"
- ◎質問:全体を通しての感想やお気づきの点がございましたらご自由にご記入下さい。
- O ありがとうございました。
- O 非常に面白い内容でした。次回もぜひ拝聴させていただきたいと思います。
- O 徐々に関係性が出来てくれば、もっとくだけたトークセッションのようなものになる と、その場でのアイデア創出があってみている方も面白いと思います。また参加者の意 見などもリアルタイムで見られてインターラクティブにするものいいのでは?
- 他地域での具体的な取り組みを数々ご紹介いただき、非常に勉強になりました。
- O とても充実した内容でした、ありがとうございました。
- O 発表者がみなさま力強く、楽しく拝聴しました。まちづくりのプロセスはとても参考になりました。ありがとうございました。
- O まず、研究会活動を継続し、広く認知されることが重要かと思います。次回も楽しみに しています。
- O 示唆に富む発表内容ばかりでたいへん為になる内容でした。機会があれば紹介のあっ

た場所を訪問したいです。

- O 次回研究会の配信が楽しみです。
- O 福岡の河川のことはあまり深く知らなかったが、海外事例などを参考にしている点や 空間でおこなわれるであろうアクティビティーを想像しながら取り組まれている点が とても印象的で興味深かった。
- O 次回以降も視聴させていただければ幸いです。
- O 発表者がみなさま力強く、楽しく拝聴しました。まちづくりのプロセスはとても参考になりました。ありがとうございました。
- O 地域,取り組みについて背景から現在のトピックまでよくわかりました。いろいろな話が聞けてよかったです。
- O 様々な団体が那珂川の魅力向上に向けた取り組みを進めていることから、調整役を設置して多様な取り組みを組み合わせられるとよいと思います。
- O みなさんのお話、大変参考になりました。特に三島さんの、まちづくりを地域で自走する仕組みにするためには、「地域の熱量が高まる共通の地域課題を掲げること」という言葉になるほどと思わされました。また、高取先生が終盤に登壇者に問いかけられた「関係者が当該エリアについて検討していく組織をどのように構築していくか」という問いが、まさに悩ましい部分なので、今後一緒に検討させていただければと思います。
- O 下北沢は少し唐突な気がしました。
- 今回、那珂川ウォーターパーク・マネジメント研究会様にご紹介いただいた事例は単なるにぎわい創出ではなく、エコロジーやコミュニティの視点を取り入れて住民を巻き込んでおり、この点がとても参考になりました。また、「水面上をどんどん使いこなして水質改善の気運を高める」、「住民が主体的に動いてもらえるよう気持ちの変化を作る」といったご発言がありましたが、まさに私たちが目指す姿と重なるため、興味深く拝聴させていただきました。貴重な機会をいただきありがとうございました。
- O まちづくりに関する国内・海外の事例紹介を続けて欲しい。特に、失敗例は。参考になると思う。
- 回 興味深い話が多く聞けて大変勉強になりました。ありがとうございました。
- O とても楽しかったです。今後どういった風に展開していくのか楽しみにしています。

(以上)

# 那珂川ウォーター・パークマネジメント研究会

#1

日時:2021年1月21日(木)13時00分~15時15分

場所:オンライン(YouTube)によるLive配信

※Geogle フォーム (下記) からのお申込み (無料) をお願いします。

https://forms.gle/vWbDKDXrp1bTCuVC6

1. はじめに(13時00分~13時20分)

「那珂川エリアのウォーター・パークマネジメントに向けて」 高取千佳氏 九州大学大学院芸術工学研究院 准教授

2. 地域の取り組み①(13時20分~13時35分)

「ミズベリング・ファンクラブ・フクオカの取り組み」 花村武志氏 ミズベリング・ファンクラブ・フクオカ 代表

3. 地域の取り組み②(13時35分~13時45分) 「We Love 天神協議会の取り組み」 荒牧正道氏 We Love 天神協議会 事務局長

- 4. 各地の事例紹介①(13時45分~14時00分) 「海外におけるウォーター・パークマネジメントについて」 安部良氏 AARA代表
- 5. 各地の事例紹介②(14時00分~14時15分) 「下北線路街園藝部ーみんなでつくる新しい街のみどりー」 三島由樹氏 株式会社フォルク 代表取締役

一休憩10分(14時15分~14時25分)—

6/ トーク・セッション(14時25分~15時15分) 「これからの那珂川エリアのあり方について」

コーディネーター 高取千佳氏

九州大学大学院 芸術工学研究院 准教授

尾藤文人氏 株式会社エックス都市研究所 主任研究員

パネリスト

花村武志氏

ミズベリング・ファンクラブ・フクオカ 代表

荒牧正道氏 We Love 天神協議会 事務局長

安部良氏 AARA代表

三島由樹氏 株式会社フォルク 代表取締役

※「ウォーターパークマネジメント」とは、水辺空間をネットワーク化し、 行政・大学・民間・市民などが連携し、地域の人々皆で公園を運営していくという考え方です。